学校番号	219

令和5年度　　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅡ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

体育科として専門の競技だけでなく他の球技の特性を理解し専門的な技術を習得してほしい。それには、歴史・ルール等基本的な事項も理解する。より取り組みやすくする為に、ゲーム形式をたくさん取り入れるが、勝敗ばかりにこだわらない。

2　学習の到達目標

体育科としての目標を高め、球技スポーツの運動を合理的に実践することにより、基礎体力を向上させるとともに運動技能を高め運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。さらに自分の体調を管理し、公正・協力・責任等の態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	運動の楽しさ、喜びを味あわさせる。	自己、グループの能力を把握し、活動の仕方を考えさせる。	それぞれ球技の専門技能を身につけさせる。	種目の特性・ルール体力の向上等基本的な事項を理解する。
評価方法	授業中の個々の動きを確認する	グループ行動の中での個々の動き	スキルテスト	ゲームでの動き

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2	バスケ男子 テニス女子	・ﾃﾆｽ（グランドストローク・ボレー・サーブ・ゲーム） ・ﾊﾞｽｹ（体力トレーニング・ｵﾌｪﾝｽ・ﾃﾞｨﾌｪﾝｽ・ゲーム）	○	○	○	○	a:練習やゲームでチームにおける自分の役割を果たし、協力して教え合ったり、励まし合ったりしようとする。 b:チームや自分の課題を解決するための適切な練習の方法などを選んだり、見つけたりしている。 c:身に付けた個人的技能や集団的技能を高めたり、新たに身に付けた技能で攻防を展開したりしてゲームをすることができる d:球技種目の特性に応じた集団的技術や個人的技術の構造について、具体例をあげて行動できる。	スキルテスト ゲームでの動き 測定記録
3	バスケ男子 テニス女子	・ﾃﾆｽ（グランドストローク・ボレー・サーブ・ゲーム） ・ﾊﾞｽｹ（体力トレーニング・ｵﾌｪﾝｽ・ﾃﾞｨﾌｪﾝｽ・ゲーム）	○	○	○	○	a:練習やゲームでチームにおける自分の役割を果たし、協力して教え合ったり、励まし合ったりしようとする。 b:チームや自分の課題を解決するための適切な練習の方法などを選んだり、見つけたりしている。 c:身に付けた個人的技能や集団的技能を高めたり、新たに身に付けた技能で攻防を展開したりしてゲームをすることができる d:球技種目の特性に応じた集団的技術や個人的技術の構造について、具体例をあげて行動できる。	スキルテスト ゲームでの動き 測定記録

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断　c:運動の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。